

日本国内 自動車解体事業者様向け

# テレマティクスコントロールユニット バッテリー リサイクルマニュアル 《リチウムイオンバッテリー 共通編》

※本書と併せて「テレマティクスコントロールユニット バッテリー  
取外しマニュアル《リチウムイオン バッテリー 車種別編》」を  
必ずお読みください。

2023年2月

本田技研工業株式会社

# INDEX.....

1. はじめに .....	2
2. テレマティクス用小型LiBのリサイクル概要 .....	3
■テレマティクス用小型LiBの回収・リサイクル フロー	
■テレマティクス用小型LiB回収手順	
■テレマティクス用小型LiB取り扱いおよび保管する場合の警告	
3. テレマティクス用小型LiB液漏れ時の対応方法 .....	7
4. テレマティクス用小型LiB火災時の対応 .....	8

本マニュアルの内容は予告なく変更する場合があります。

# 1. はじめに

本マニュアルは本田技研工業(株)の「テレマティクスコントロールユニットバッテリー(リチウムイオン電池)(以下、「テレマティクス用小型LiB」という)」のリサイクルマニュアルです。これは、日本国内の自動車解体事業者様にご活用いただくために作成したものです。

車両からのテレマティクス用小型LiB 取外し方法については、各車種別に「バッテリー取外しマニュアル」がありますので、そちらを必ずお読みください。

使用済自動車の再資源化等に関する法律施行規則 第九条第二号において、解体業者による使用済自動車の再資源化に関する基準として、使用済自動車から取外す必要のある部品に、「リチウムイオン電池、ニッケル・水素電池」が挙げられており、「技術的かつ経済的に可能な範囲で、再資源化を自ら行うか、又は再資源化を業として行うことができる者に引き渡すこと」が求められております。

引き渡し先として本マニュアルに記載のある、自動車再資源化協力機構(JARP)が窓口となっている引取依頼システムをご活用ください。

## 2. テレマティクス用小型LiBのリサイクル概要



警告

- 車両廃棄の際はテレマティクス用小型LiBを取外す必要があります  
リチウムイオンバッテリーを搭載したまま車両のプレスなどを行うとリチウムイオンバッテリーが破損し、  
- 短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。  
- リチウムイオンバッテリーから漏れた電解液による炎症等を負う恐れがあります。
- 使用済みのテレマティクス用小型LiBは他の車両への搭載や、転売等をしないでください  
  
適切に回収されないリチウムイオンバッテリーが破損した場合、内部から漏れた電解液により炎症等を負ったり、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。  
Honda車両に搭載されているリチウムイオンバッテリーを他用途で使用すると発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。
- テレマティクス用小型LiBに液漏れ、変形、破損、異音や熱の発生が認められる場合は、作業前に必ず下記に連絡し、指示に従ってください  
  
リチウムイオンバッテリーに異常があるまま取外し作業を行うと、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。
- テレマティクス用小型LiBは各車種別「バッテリー取外しマニュアル」で指示する以外の解体を行わないでください  
  
マニュアルで指示する以外の解体を行うと、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。

※ 車両からテレマティクス用小型LiBを取外し、その引渡し先をご検討の際は、自動車再資源化協力機構(JARP)ウェブサイト内「リチウムイオンバッテリー-引取依頼システム」をご活用ください。

自動車再資源化協力機構

回収依頼 : <http://lib-jarp.org/>

お問い合わせ : 0570-000-994

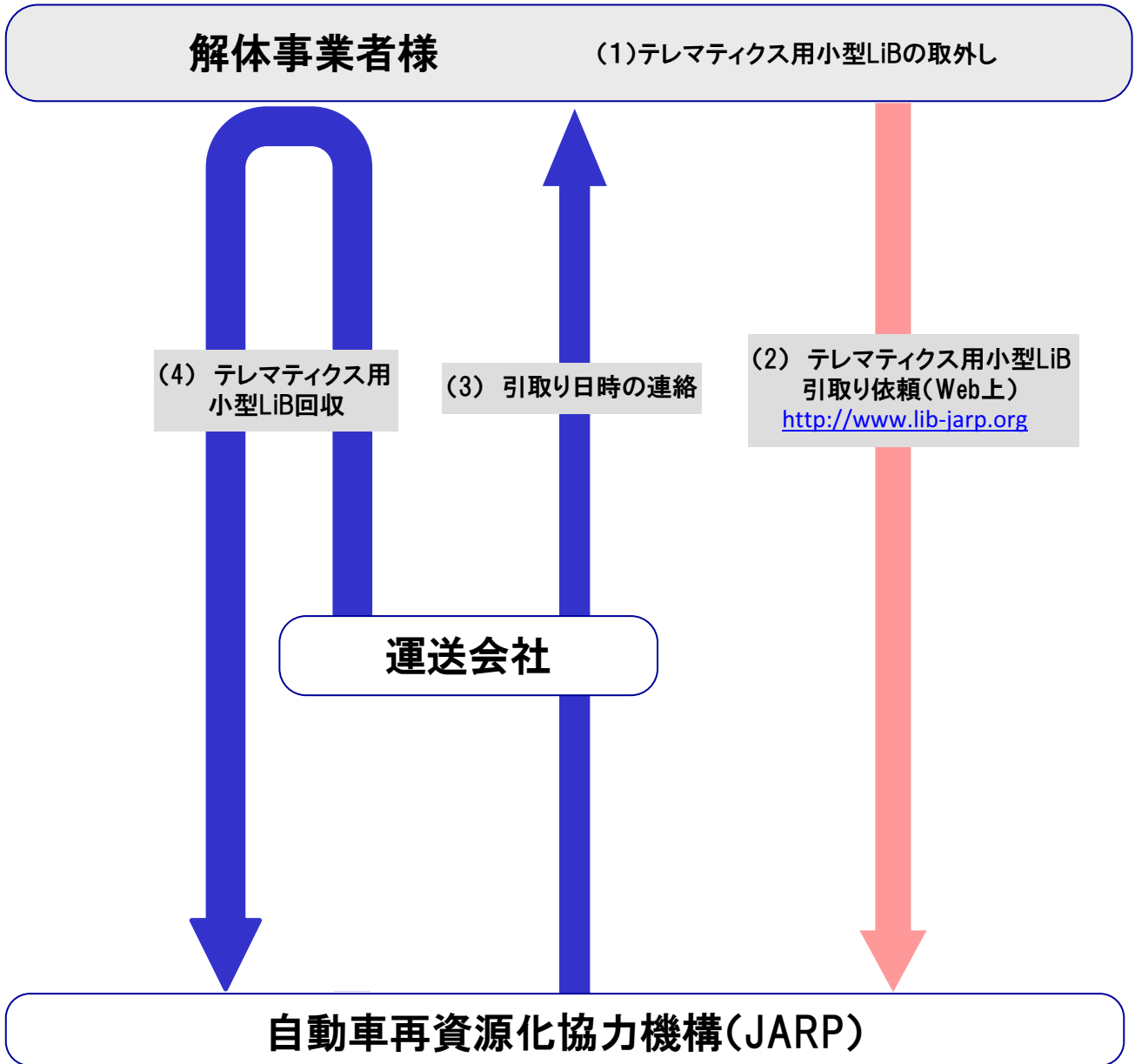
※ 車両からテレマティクス用小型LiBを取外す前、または取外す際に異常が認められた場合は、必ず下記にご連絡ください。

本田技研工業(株) お客様相談センター  
0120-112010(フリーダイヤル)

本田技研工業株式会社では転売・譲渡・改造等による専用車両以外へのテレマティクス用小型LiB使用による事故・損害等については責任を負いかねます。  
転売・譲渡・改造等の結果、事故防止を目的とする使用環境の制限、使用条件の制限、設置据付条件の制限、使用前準備の制限、使用者の制限、予測される誤使用の禁止、保守・点検、異常時の処置等についての告知がされないことによりその後の使用者等において危険性が認識されず、事故が起こった場合、転売・譲渡等を行った事業者等の製造物責任が問われる可能性があります。  
本田技研工業株式会社ではテレマティクス用小型LiBの回収を自動車再資源化協力機構(JARP)を通して実施していますのでご活用ください。

■**テレマティクス用小型LiBの回収・リサイクル フロー**

テレマティクス用小型LiBを、自動車再資源化協力機構(JARP)ウェブサイト内「リチウムイオンバッテリー引取依頼システム」で引取った場合、下図の流れで回収・リサイクルを行います。



引取り依頼の際には、自動車再資源化協力機構のホームページをご参照いただき「リチウムイオンバッテリー引取依頼システム」より必要事項を入力の上、ご依頼ください。

自動車再資源化協力機構 ホームページ⇒<http://www.jarp.org/>

リチウムイオンバッテリー回収概要⇒<http://www.jarp.org/duties/lib>

引取依頼システム⇒<http://www.lib-jarp.org>

引取り依頼に関するお問い合わせは、自動車再資源化協力機構  
TEL:0570-000-994へご連絡ください。

## ■テレマティクス用小型LiB回収手順

### (1) テレマティクス用小型LiBの取外しおよび保管

- 取外し作業手順については、各車種別の「取外しマニュアル」をご覧ください
- 保管についてはP.6の「テレマティクス用小型LiBの取り扱いおよび保管する場合の警告」をご覧ください
- 「テレマティクス用小型LiB取外しマニュアル」通りに、取外し作業をしていただかないと、回収をお断りする場合がございます

### (2) 自動車再資源化協力機構ホームページより引取り依頼

- リチウムイオンバッテリー引取依頼システムより、必要事項を入力のうえ、ご依頼ください
- リチウムイオンバッテリー引取依頼システムURLはこちら ⇒ <http://www.lib-jarp.org/>

### (3) 引取り日のご連絡

- 運送会社より引取日時等を連絡させていただきます

### (4) 回収

- 指定の運送会社が引取りに伺います
- 荷姿は車種ごとに異なりますので、必ず各車種別の「取外しマニュアル」で指定する荷姿にしてください
- 運送会社ドライバーが伺いましたら、目視確認やヒアリング事項に答える等のやり取りをお願いします
- 運送会社の指定する引渡し方法にて、引渡しを実施してください(通常は車上渡しです)
- 本リチウムイオンバッテリー回収・処理スキームは廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)に準じておりますので、運送会社より発行される管理票A票は5年間保管をお願いいたします

## ■テレマティクス用小型LiB取り扱いおよび保管する場合の警告



警告

- テレマティクス用小型LiBに、衝撃を与えたり圧力をかけないでください  
衝撃や圧力を与えてリチウムイオンバッテリーが破損した場合、
  - 短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。
  - リチウムイオン バッテリーから漏れた電解液による炎症等を負う恐れがあります。
  
- テレマティクス用小型LiBが長時間直射日光にさらされたり、高温になる場所に保管しないでください  
高温によるリチウムイオン バッテリーの変形・損傷などが発生した場合、液漏れを起こし炎症等を負ったり、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。
  
- 雨や水がかかったり、結露が発生するような環境でテレマティクス用小型LiBを保管しないでください  
リチウムイオン バッテリーは水分により濡れた場合、短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。
  
- 周囲に障害物のない、安全な場所に保管してください  
落下させたり、転倒させて衝撃を与えてリチウムイオン バッテリーが破損した場合、
  - 短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。
  - リチウムイオン バッテリーから漏れた電解液による炎症等を負う恐れがあります。
  
- テレマティクス用小型LiBは積み重ねたり、他の物を載せたり、不安定な場所に置いたりしないでください  
落下させたり、重量物を乗せてリチウムイオン バッテリーが破損した場合、
  - 短絡による発火、発煙、破裂および感電等の恐れがあります。
  - リチウムイオン バッテリーから漏れた電解液による炎症等を負う恐れがあります。
  
- テレマティクス用小型LiBから液漏れした場合は、必ず液漏れ時の対応方法(P.7)に従って対処してください  
リチウムイオン バッテリーのセル内に封入されている電解液は、消防法の危険物第4 類第2 石油類非水溶性液体に該当します。
  
- テレマティクス用小型LiBから液漏れしたり、異臭がする場合は、ただちに火気より遠ざけてください  
リチウムイオン バッテリーから漏れた電解液に引火し、発火、発煙、破裂等の恐れがあります。

### 3. テレマティクス用小型LiB液漏れ時の対応方法



警告

- テレマティクス用小型LiBから液漏れが見られた場合は、以下の事項を遵守するとともに、直ちに本田技研工業(株) お客様相談センター 0120-112010(フリーダイヤル)まで連絡し、取り扱いについての指示を受けてください
- テレマティクス用小型LiB液漏れ時は、下記の要領に沿って正しい処置を行ってください  
リチウムイオン バッテリーのセル内に封入されている電解液は、消防法の危険物第4 類第2 石油類非水溶性液体に該当します。処置を誤ると炎症等の傷害を受けることがあります。
- バッテリー液が目に入ったり皮膚に付着しないよう充分注意してください。万一、目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で洗浄した後、専門医の診断を受けてください  
リチウムイオン バッテリー電解液が目に入ったり皮膚に付着すると、失明や傷害を受ける危険があります。
- 漏出したバッテリー液に、第三者が不用意に近づいたり触れることのないよう、ガード等で周囲を封鎖するなどの処置を講じてください  
リチウムイオン バッテリー電解液が目に入ったり皮膚に付着すると、失明や傷害を受ける危険があります。

リチウムイオン バッテリー電解液は揮発性有機溶剤です。万一、バッテリー付近に液漏れが確認された場合は、電解液が含まれる恐れがあるため、下記の手順により処置を行ってください。

- (1) 作業は、耐溶剤用保護具[ガスマスク(有機ガス用)、ゴム手袋(耐薬品用)、保護メガネ]を必ず着用の上行ってください。
- (2) 乾燥したウエス等で漏れた液を拭き取ってください。使用したウエス等は密閉できる袋や容器に格納し、産業廃棄物として適切に処理してください。  
※ 電解液およびその蒸気は、水(空気中の水分も含む)と反応して、酸性の物質を生成する可能性があります。
- (3) 屋外では風上側で、屋内の場合は十分に換気をしながら作業してください。電解液の揮発成分を吸入してしまった場合は、直ちに換気が十分で新鮮な空気のある場所へ移動し、気分が悪い場合は速やかに医師の診断を受けてください。  
※ 電解液の揮発成分を吸入した場合、吐き気や呼吸困難を引き起こす恐れがあります。
- (4) リチウムイオン バッテリー電解液が皮膚に触れた場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。リチウムイオン バッテリー電解液が付着した衣服は直ちに脱いでください。かゆみや炎症等、皮膚に変化があったり、刺激痛があったりする場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- (5) リチウムイオン バッテリー電解液が万一、目に入った場合は、こすらずに直ちに大量の水で洗い流してから専門医の診断を受けてください。自身で水道等まで移動できない時は、大声で救援を求めてください。



- (6) リチウムイオン バッテリー電解液が口に入った場合は、水で口内をよく洗い、無理に吐かず、速やかに医師の診断を受けてください。

※事故などで、損傷を受けた車両およびリチウムイオンバッテリーの処置は  
HONDAホームページ『電気自動車(EV)・ハイブリッド車 レスキュー時の取り扱い』をご参照ください。  
<http://www.honda.co.jp/rescue=auto/>

本田技研工業(株) お客様相談センター 0120-112010(フリーダイヤル)  
受付時間:9時~12時 13時~17時

## 4. テレマティクス用小型LiB火災時の対応



警告

- リチウムイオン バッテリー付近に万一火災が生じた場合は、消火器(油火災: ガソリン、石油、油などによる火災および電気火災: 電気配線、電気機器などによる火災に有効な消火器)で消火してください

初期消火については、少量の水による消火はかえって危険な場合があるため、水をかける場合は消火栓などから大量に放水するか、消防隊の到着をまってください。